

| | | | |
|-----------------------|--|---------|-----------------------------|
| 1. 科目名 (単位数) | 認知症の理解Ⅱ (2単位) | 3. 科目番号 | SNMP3113 |
| 2. 授業担当教員 | 先崎 章 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、質疑応答形式を併用 | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | |
| 7. 講義概要 | <p>認知症の理解Ⅰをふまえ、認知症の医学的、行動的、心理的、社会福祉的概要の理解をさらに深めていきます。将来社会人となってから、他の職員に引けをとらないだけの知識の習得を目指します。老人医療、地域社会、精神保健および精神保健福祉制度についても関心がいくように、話題を展開します。すなわち、精神疾患(含、認知症)の増加、障害者概念の広がりにより、平成25年度から施行された新たな医療計画に5疾病5事業の一つとして精神疾患(含、認知症)が加わり、また同時に(介護保険法に準ずる形で)地域障害者総合支援法がスタートしました。最近の福祉・医療の概要、動向についても理解を深めていきます。</p> <p>原則として教科書『認知症ケア標準テキスト 改訂・認知症ケアの実際Ⅱ：各論』日本認知症ケア学会編(株)ワールドプランニングの内容に沿って学習を進めていきます。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士として必要な認知症の知識を身につける。 2. 脳の機能や老人の心理や精神疾患についての理解を深め、説明することができる。 3. 認知症に付随する身体症状や介護についての視点も身につける。 4. 家族の力や地域資源を活かす視点を身につける。 5. 認知症や高齢者に関する制度の理解を深め、説明することができる。 | | |
| 9. アサイメント(宿題)及びレポート課題 | <p>講義で取り上げた項目や学生の関心事項の中から、選択してレポート(文章と図を合わせてA4 4枚)作成し提出する。</p> <p>詳細は授業の中で説明します。レポートの提出ではなくて、講義の中で一部時間をとって、発表の形式(コメントで内容を補う)にすることも考えています。</p> | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】日本認知症ケア学会編『認知症ケア標準テキスト 改訂5版・認知症ケアの実際Ⅱ：各論』(株)ワールドプランニング。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p> <p>【参考書】山口晴保編『認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第2版』協同医書出版社。 『新・精神保健福祉士養成講座1 精神疾患とその治療 第2版』中央法規。 東京福祉大学編『社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 認知症の介護や支援の原則や方法について、明瞭かつ論理的な説明をすることができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎回の提出物、授業態度 総合点の50% 2 課題レポート 総合点の10% 3 復習テスト(随時実施) 総計点の40% | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <p>基本的な知識を習得するためには、地道な学習活動と基本事項を記憶することが必要です。認知症ケア専門士認定試験は実務経験3年以上必要な民間資格で、卒業後3年経過しないと受験できません。しかしその認定試験問題を意識することによって、具体的な学習到達レベルを、各自が把握することができます。この試験の「認知症ケアの基本」および「認知症のケアの実際Ⅱ：各論」分野の合格レベルを目指します。この認知症ケア専門士認定試験用の教科書を使用します。</p> | | |
| 13. オフィスアワー | 木曜日(授業、会議のない時間帯) | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション、認知症Ⅰの復習 | 事前学習 | 「認知症Ⅰ」配布プリントの復習 |
| | | 事後学習 | 復習配布プリントの復習 |
| 第2回 | 行動・心理症状(BPSD)とその対応—基本編 | 事前学習 | 教科書でBPSDの箇所を読んでくる |
| | | 事後学習 | BPSDについての配布プリントの復習 |
| 第3回 | 行動・心理症状(BPSD)とその対応—応用編 | 事前学習 | 教科書該当部分を読んでくる |
| | | 事後学習 | BPSDについての配布プリントの復習 |
| 第4回 | リハビリテーション—基本編 | 事前学習 | リハビリテーションの興味ある箇所を読んでくる |
| | | 事後学習 | リハビリについての配布プリントの復習 |
| 第5回 | リハビリテーション—応用編 | 事前学習 | 教科書該当部分を読んでくる |
| | | 事後学習 | リハビリについての配布プリントの復習 |
| 第6回 | 行動・心理症状(BPSD)の対応とリハビリテーション(第2回～第5回のまとめも含む) | 事前学習 | 第1～5回の配布プリントの復習 |
| | | 事後学習 | BPSD・リハビリについてまとめる |
| 第7回 | 薬物療法の知識 | 事前学習 | 教科書の薬物療法の箇所を読んでくる |
| | | 事後学習 | 薬物療法についての配布プリントの復習 |
| 第8回 | 非薬物療法の知識 | 事前学習 | 教科書の非薬物療法の箇所を読んでくる |
| | | 事後学習 | 非薬物療法についての配布プリントの復習 |
| 第9回 | 施設・在宅における環境支援 | 事前学習 | 教科書の環境支援の箇所を読んでくる |
| | | 事後学習 | 環境支援についての配布プリントの復習 |
| 第10回 | 身体的兆候の理解と対応 | 事前学習 | 教科書の身体的兆候の部分を読んでくる |
| | | 事後学習 | 身体的兆候についての配布プリントの復習 |
| 第11回 | 薬物療法と身体的兆候(第7回～第10回のまとめも含む) | 事前学習 | 第6～10回の配布プリントの復習 |
| | | 事後学習 | 薬物/非薬物療法・環境支援・身体的兆候についてまとめる |

| | | | |
|------|--|------|--------------------------------|
| 第12回 | 認知症疾患治療ガイドライン2017 ケアの実践的プロセス・アセスメント方法 | 事前学習 | 認知症疾患治療ガイドラインを調べる |
| | | 事後学習 | 実践的プロセス・アセスメント方法についての配布プリントの復習 |
| 第13回 | 家族への支援・チームアプローチ、介護とICFの視点 | 事前学習 | ICFについて調べる |
| | | 事後学習 | チームアプローチについての配布プリントの復習 |
| 第14回 | 全体のまとめ | 事前学習 | 第1～13回の配布プリントの復習 |
| | | 事後学習 | 認知症理解について学んだことを一つずつ確認する |
| 第15回 | 倫理、ターミナルケア、最近の新聞記事 | 事前学習 | 教科書の該当部分を読んでくる |
| | | 事後学習 | 配布した新聞記事、教科書を再度、総復習する |